

令和4年度学校評価(自己評価は、ABCの3段階で実施)

| 重点 | 目標・求める姿 | 具体的実践事項 | 指 標 | 指標の結果 | 職員自己評価 | アンケート(平均) | | 自己評価 | 取組状況 (○成果 ●課題) | 改善策 | 自己評価の妥当性 | ご意見等 | |
|---------------------------|---|--|--|-------|--------|-----------|------|------|---|--|----------|---|-----|
| | | | | | | 児童 | 保護者 | | | | | | |
| 1 豊かな人間性の育成(共感・協働できる力) | 励まし合い、高め合う人間関係をつくることのできる児童(心豊かで思いやりのある児童) | 発問の工夫や考え、議論する道徳科の指導方法の工夫改善による心に響く道徳の授業実践 | 児童アンケート「よりゆたかに」で肯定的な回答をしている児童の割合【90%以上】 | ○ | 3.4 | 3.46 | 3.39 | B | ①「キラリ」カード ○友達の良いところやがんばっているところをカードに書き、給食時の放送等で紹介したことで、友達の良いところに目を向ける意識の高まりが見られた。 ●取組には、個人差、学級差が見られる。 ②いじめ・生徒指導上の問題の未然防止 ○児童との年3回の教育相談に加え、気になる児童の保護者との面談を実施した。11月末に実施の「心のアンケート」結果では、いじめの認知件数は0件であった。 ○随時、必要に応じて専門家や専門機関との連携を図り、多方面から対応した。 ③「SDGsタイム」 ○今年度から「SDGsタイム」を位置づけ、校内の環境整備やSDGsについての学習を進め、理解と実践に努めた。 ●栽培活動以外の項目にも取り組めるとなおい。 | ①「キラリ」カード ○友達の良いところやがんばっているところをカードに書き、給食時の放送等で設定するなど、個人差、学級差をなくし、活動の活性化を図る。 ③他の職員が実施している募金活動と連携するなど、負担にならない範囲で学期1回程度、栽培活以外の活動にも取り組む。 | 妥当 | ・全体を通して、素晴らしい取組をされていると思います。「X」のあったところで説明された解決策も妥当であると思います。これからも温かい地域の方々と共に、更に発展されていかれることを祈念申し上げます。 ・あいさつ運動も十分子どもたちはできているので、あまり過度にならないぐらいでいいのではないかと思います。例えば、横断歩道を渡る際に丁寧に頭を下げすぎて逆に危ない気がしました。 | |
| | | 保護者や地域への学習内容の発信 | 学習内容を発信した回数【学期1回以上】 | ○ | 3.2 | | | | | | | | |
| | | 「きらり」の発表や帰りの会等での友達の良いところの発表 | 児童アンケート「よりゆたかに」で「きらり」を見つけている児童の割合【80%以上】 | × | 71.0% | | | | | | | | 3.8 |
| | | 体験活動時の感謝の気持ちを表す感想交流の場の設定 | 体験活動時の感想交流の場の設定の割合【100%】 | ○ | 3.6 | | | | | | | | |
| | | 児童に寄り添った「認め・ほめ・励まし、鍛え、伸ばす」言葉かけ | 職員の学期末の教育反省評価(4段階)の平均【3以上】 | ○ | 3.71 | | | | | | | | |
| | | 毎月の生活目標を核とした日常的指導と振り返り | 職員の学期末の教育反省評価(4段階)の平均【3以上】 | ○ | 3.17 | | | | | | | | |
| | | 3A運動プラス1の徹底 | 児童アンケート(3Aプラス1)で肯定的な回答をしている割合【90%以上】 | ○ | 3.5 | | | | | | | | |
| | | 児童が主体的に活動できる学校行事の運営や児童会活動の工夫 | 学校行事や児童集会等で児童が進行をする場の設定の割合【80%以上】 | ○ | 3.5 | | | | | | | | |
| | | HyperQ-Uアンケート等の結果を活用した学級経営 | 2回目のHyperQ-Uアンケート結果で学級生活満足群に属している児童の割合【70%以上】 | ○ | 2.75 | | | | | | | | |
| | | 教育相談や日常的指導による児童との信頼関係の構築といじめの早期発見 | 児童アンケート「絶対いじめのない水東小にするために」で肯定的な回答をしている児童の割合【90%以上】 | ○ | 3.5 | | | | | | | | |
| 学校版環境ISOの定期的なチェックによる啓発 | 児童会活動での学校版環境ISOチェックの回数【毎月】 | ○ | 3.5 | | | | | | | | | | |
| 計画的な花や野菜の栽培活動(SDGsタイムの活用) | 計画に沿った栽培活動の実施率【100%】 | ○ | 3.67 | | | | | | | | | | |
| 2 確かな学力の育成(課題解決に向かう) | 力解(課題解決)をもち、進んで学習する児童(課題解決に向かう児童) | 校内研修のテーマに沿った授業の実施 | 児童アンケート「よりかしこく」で肯定的な回答をしている児童の割合【90%以上】 | ○ | 3.83 | 3.62 | 3.28 | A | ④「水東タイム」 ○週3回、放課後に個別指導を行う時間を設けたことで、苦手な部分を克服することにつながった。 ●授業との関連を図り、年間計画を立てて取り組むとより効果が上がる。 ⑤家庭学習 ○「家庭学習の手引き」や「自主学習の手引き」を作成し、家庭と連携して家庭学習に取り組んだことで、学習時間の確保や計画的な取組ができた。 ●自主学習は、内容の充実に向けた取組が必要である。 | ④授業で不足している学習内容に取り組む時間を週に1回位置づける。 ⑤多様な学習内容や方法を児童に示し、一人一人の実態に応じた学習ができるように支援する。 | 妥当 | ・現在の取組を続けてください。 ・他の教科の基礎である国語科を徹底して指導されているのは素晴らしいと思います。 ・授業も分かる所から始めて、安心感を持って取組を続けてください。 | |
| | | ICTを活用した授業づくり | 職員の学期末の教育反省評価(4段階)の平均【3以上】 | ○ | 3.83 | | | | | | | | |
| | | 県学力・学習状況調査等の客観的な資料を基にした授業づくり | 職員の学期末の教育反省評価(4段階)の平均【3以上】 | ○ | 3.6 | | | | | | | | |
| | | 放課後の時間「水東タイム」の活用による個に応じた指導 | 計画に沿った「水東タイム」の実施率【100%】 | ○ | 3.8 | | | | | | | | |
| | | 国語科の授業を中心とした基礎・基本の徹底や習熟を図る時間の設定 | 職員の学期末の教育反省評価(4段階)の平均【3以上】 | ○ | 3.4 | | | | | | | | |
| | | 「家庭学習の手引き」に沿った取組と自学ノート等の内容の充実に向けた指導 | 児童アンケート「よりかしこく」の家庭学習に関する項目で肯定的な回答をしている児童の割合【90%以上】 | ○ | 3.6 | | | | | | | | |
| | | 読書に親しむ機会の提供と環境づくりの推進(ハード面、ソフト面の充実) | 児童アンケート「よりかしこく」の読書に関する項目で肯定的な回答をしている児童の割合【90%以上】 | ○ | 3.4 | | | | | | | | |

| 重点 | 目標・求める姿 | 具体的実践事項 | 指 標 | 指標の結果 | 職員自己評価 | アンケート(平均) | | 自己評価 | 取組状況 (○成果 ●課題) | 改善策 | 自己評価の妥当性 | ご意見等 |
|-----------------------------|---|---|--|-------|--------|-----------|------|---|---|-----------------------|---|--------|
| | | | | | | 児童 | 保護者 | | | | | |
| 3 健やかな心身の育成(やり抜く力) | めえ、自己的改善の心身の健康を保持し、意欲的に運動や安全に親しみについて力を高めたい。 | めあて学習の実践による体育の授業の充実 | 職員の学期末の教育反省評価(4段階)の平均【3以上】 | ○ | 3.6 | 3.64 | 3.54 | B | ⑥縄跳びの取組 ○全校で縄跳びに取り組み、持久走大会で技を発表した。発表に向けて意欲的に取り組んでいた。 ●全校体育など、学校全体で運動できれば、目標をより明確に持つことができた。 ⑦「にこにこ生活週間」 ○家庭の協力のもと、毎月、生活リズム等を記録した。就寝前のデジタル機器の使用について、改善が見られた。 ⑧交通安全指導 ○登校時等の日常的な指導により、校外学習でも安全に気を付けて行動できた。 | ⑥持久走大会の前に全校体育の時間を設ける。 | 妥当 | 特記事項なし |
| | | 全校体育の実施と外遊びの励行 | 児童アンケート「よりたくましく」で外遊びをしていると回答している児童の割合【90%以上】 | ○ | 2.83 | | | | | | | |
| | | にこにこ生活カードやすすくチェックの結果を活用した基本的生活習慣の定着に向けた指導 | にこにこ生活カードで各項目3以上の自己評価をしている児童の割合【80%以上】 | ○ | 3.67 | | | | | | | |
| | | う歯の処置の指導等、保健指導の充実 | う歯の処置完了率【100%】 | × | 3.5 | | | | | | | |
| | | 交通教室・遠足等の学校行事や学級活動での危険予知能力、危機回避能力の育成 | 職員の学期末の教育反省評価(4段階)の平均【3以上】 | ○ | 3.33 | | | | | | | |
| | | 帰りの会や集団下校、集会等での日常的な安全指導 | 職員の学期末の教育反省評価(4段階)の平均【3以上】 | ○ | 3.67 | | | | | | | |
| | | 教科等と学校行事を関連させた防災教育の充実 | 計画的な避難訓練の実施率【100%】 | ○ | 3.4 | | | | | | | |
| 給食の時間、教科等、体験活動を関連させた食に関する指導 | 市給食センター作成の資料を活用した食に関する指導の回数【毎回】 | × | 3.2 | | | | | | | | | |
| 4 人権教育の推進 | 大切な判断でできる自分や他人を大切にしたい。 | 人権宣言の意識化を図る繰り返しの指導 | 児童アンケート「よりゆたかに」で肯定的な回答をしている児童の割合【90%以上】 | × | 3.5 | 3.44 | B | ⑨人権教育の学習の情報発信 ○人権教育の学習の様子をホームページ上で発信した。 ●今年度は学期に1回程度であったため、もう少し計画的に取り組む必要がある。 ⑩校内研修の充実 ○年2回、外部講師を招いての研修を実施した。 | ⑨年度当初に情報発信の計画を立て、見直しをもって取り組むことで、家庭・地域との連携を図る。 | 妥当 | 特記事項なし | |
| | | 命を大切にしたい心身の育成に向けた授業の実施及び保護者や地域への情報公開 | 人権教育の授業の公開回数【年1回以上】 | ○ | 3.6 | | | | | | | |
| | | ユニバーサルデザインの視点による授業づくり | 職員の学期末の教育反省評価(4段階)の平均【3以上】 | ○ | 3.2 | | | | | | | |
| | | 専門機関等との連携による特別支援教育研修の実施 | 校内研修での研修の実施回数【年2回以上】 | ○ | 3.6 | | | | | | | |
| 5 開かれた、信頼される学校づくり | 動き、郷土の水俣市として生き生きと活動したい。 | 保護者・地域の方と連携した学習活動の推進(地域の伝統「餅つき踊り」の伝承) | 児童がめあてを立てて「餅つき踊り」の練習を行った割合【90%以上】 | ○ | 3.8 | 3.59 | A | ⑪地域と連携した教育活動 ○8区合同運動会や「餅つき踊り」、「ふれあい文化祭」等を通して、地域の方のよさを発見するとともに、地域の方に感謝の気持ちを伝えることができた。また、環境整備にも多数、ご協力いただき、地域の方に支えられているということに気づくことができた。さらに、今年度、新たに地域の方に花を配る活動を実施した。 ●花を配る活動は、子供が主体となって活動できるようになるともっと良い活動になる。 | ⑪花を配る活動は、今年度、活動の流れを作ることができたので、次年度は子供が主体となって活動できるように計画する。 | 妥当 | ・防災教育を地域とともに。防災訓練の実施。 ・「餅つき踊り」を全校児童で取り組むのが大変よいと思います。 ・今年度こそ、幼保小中連携をしたいです。 | |
| | | 学校ホームページや学級通信等を活用した学校経営方針の共有と学校教育活動の紹介 | 学校ホームページ等で情報発信をした回数【年間150回以上】 | ○ | 3.5 | | | | | | | |
| | | 安全点検の実施による施設の安全面の確保 | 安全点検の実施と確実な事後対応【90%以上】 | ○ | 3.86 | | | | | | | |
| | | 計画的な花や野菜の栽培活動(SDGsタイムの活用) | 計画に沿った栽培活動の実施率【100%】 | ○ | 3.67 | | | | | | | |
| | | 校内不祥事防止委員会による定期的な実践、機会を捉えた研修等 | 校内不祥事防止委員会が検討した研修の実施の回数【年3回】 | ○ | 3.57 | | | | | | | |
| 7 働き方の推進 | 働き方の確保 | 働き方改革・働き方改革委員会を中心とした業務の精選、効率化の推進 | 在校等時間が月45時間を超えない職員の割合【70%以上】 | × | 63.4% | 2.71 | C | ⑫働き方改革の取組 ●細かい取組は行ったが、抜本的な改善は難しかった。 | ⑫スムーズに仕事ができるように、職員全員でアイデアを出し合う場をつくる。 | 妥当 | ・時間にこだわらずやりがいのある職場づくりを。 ・放課後の学校の使い方を地域で考えてみてほしいかもしれません。 | |